

フェイエットカウンティパブリックスクール

許される使用方針 (AUP)

Rev. 06/18

ディストリクト (学区) は学校でのテクノロジーへのアクセスが生徒に学習、従事、意思伝達、仕事、生活、市民として準備をする技術を身につけるための大きな機会を与えていることを理解しています。私達は生徒たちが21世紀のテクノロジーとコミュニケーション技術を学ぶためにお手伝いすることに強い責任を感じています。そのために、私達は生徒たちとスタッフのために教育目的のテクノロジーへのアクセスを与えます。この許される使用方針 (AUP) は学区の施設内で、学校のテクノロジーや個人で所有している機器を生徒、教師、保護者が使用する場合の条件や期待していることの概要を述べるものです。

スタッフの役割と責任

ディストリクト (学区) はテクノロジーを使う際、全ユーザーが安全で責任のあるデジタル市民であることを義務付けます。そのために、学区はユーザーの安全のために、以下の方法を使用します。

- インターネットの安全とデジタル市民についての生徒の指導は毎年行われます。
- 教師とスタッフはクラス内での許されたテクノロジーの使用を積極的に監督します。
- 州と連邦の規則および学区の方針により、インターネットのアクセスは規制されます。ウェブのアクティビティは何時も監督され、記録されることがあります。
- ネットワークと学校の管理者は適切な使用を確認するためにファイルとコミュニケーションを見ることがあります。

親・保護者の役割と責任

学区は親・保護者が私達のパートナーとして、生徒に利用できるテクノロジーを安全かつ適切に使うことを教えることを期待しています。学校が不適切な使用を防ぐあらゆる努力をする一方、全ての不適切なコンテンツをブロックするのは不可能です。同様に、学区によって管理されていないワイアレスの接続は監督されないため、親・保護者の責任になります。

生徒の役割と責任

テクノロジーとネットワークのアクセスは教育的な目的と指導をサポートするためだけのものです。生徒はリソースを責任を持って利用することを期待され、行動とコミュニケーションに関して責任を問われることになります。全コミュニケーション、データ、保存または学区のネットワークで送信されたファイルはフェイエットカウンティパブリックスクールの所有物とみなされ、見られたり、取り除かれたりすることがあります。理由と法的なガイドライン内での言論の自由と情報へのアクセスは認められます。

認められる使用の例は以下に含まれる (しかし限定されない)

- 学校と学区の礼儀正しく責任のあるデジタル市民としての行動規範に従う。
- 指導されたように、そして教育目的でオンライン・ネットワークのリソース (電子メールを含む) を使用。
- 適切な資料のみ保存しシェアする。
- 学校と (か) 個人のテクノロジーは教育目的のため認められた時間のみ使用する。

認められない使用の例は以下に含まれる (しかし限定されない)

- 不適切、不快な、嫌がらせ、下卑な性質のコンテンツ、あるいは暴力や不法な活動を促すコンテンツにアクセス、送信、と (か) 故意に受け取る。
- 故意に限定されたリソースを無駄遣いしたり、学問に関係ない目的に使う。 - (ファイル保存、印刷、コンピューター処理能力)
- 他人のユーザーネームやパスワードを使う、またはシェアする、もしくは自分のユーザーネームやパスワードを他人とシェアする。
- 形はどうあれ、ネットワークや設定を危険にさらす (ハッキング、スパム、安全を回避する等)
- 学校のネットワークを個人の利益、娯楽、政治活動、学校に関係のない活動に使う。
- 著作権法違反や盗作を犯す、ソフトウェア、音楽、他の著作権を保護されたファイルをコピーすることを含む。
- 意図的に学区や個人のテクノロジーに関係した所有物に損害を与えるか、盗む。
- 他人に対し、サイバー (ネット) いじめ、嫌がらせ、失礼な行動を取る。

許される使用方針の違反

AUP 違反をした生徒は生徒の行動規範に規定された同様のオフライン行動への懲戒処分の対象になり、学校の管理者の判断に委ねられます。

個人所有の機器

良いデジタル市民として行動し、AUP に署名した生徒は個人所有の機器を学区のネットワークに接続することを許されます。そのようなアクセスは上に述べられたように監督され、生徒は学区の認証情報を使ってログインすることを義務付けられます。しかしながら、ご家族は個人の機器の全サービスとサポートに責任があります。学区は学校内での個人の機器使用により被った損害や損失に責任はありません。生徒は適切な目的で適時に機器を使うことになっています。

学区ネットワークでの機器使用が監督されますが、保護者と未成年の親は設定と子供がメディアと情報ソースを使う時に守るべき標準を伝えることに責任があります。親と保護者は学区外のワイアレスや携帯通信を通じて生徒がアクセスするものに同様に責任があります。

ウェブ 2.0 リソースのためのオンラインアカウント作成のための生徒の同意

指導の一部として、生徒はオンラインのワードクラウド、インターアクティブピクチャー、インフォグラフィック、プレゼンテーションや他のデジタルプロジェクトを作成するため、学校が供給するリソースに加えて教育目的で様々なウェブサイトを使用します。これらの学習サイトの多くは生徒のアカウントを必要とします。時には学区や教師が生徒のためのアカウントを作成することができますが、いつもではありません。児童オンラインプライバシー保護法 (COPPA) は 13 歳以下の児童は全員確かなウェブ 2.0 サイトでのアカウント作成の前に親の同意が義務付けられています。この書類に署名することであなたはお子さんが教育目的で教師が指定したサイトにアカウントを作成することの許可を表明します。教師が生徒と利用するサイトは学区の承認を受けなければならず、サイトは KRS 61.931; KRS 61.932; KRS 61.933 法を順守しなくてはなりません。

利用の同意

この書面に署名することで、あなたはここにおいてあなたのお子さんが学区と (か) ケンタッキー教育庁 (KDE) によって与えられる電子リソースを使う権利と、学区の方針と手順が明記した利用規約と条件の影響下にあることを承認し同意するものです。またそのようなサービスに関係したデータ保存は学区の 08.2323 方針と伴う手順にならない、管理されます。また、あなたのお子さんに与えられた電子メールアドレスは学区が援助する、または援助しない電子サービスまたはテクノロジー、それはオンラインの保存スペース、オンラインのコミュニケーションやコラボレーション、インスタントメッセージなどの機能を与えるもの、にアクセスするのに使われることをあなたは理解しています。これらのサービスの利用は標準の消費者利用規約か標準同意モデルの影響下にあります。これらのシステムに保存されたデータは、該当すれば、KDE と指定されたサービスプロバイダー間、または末端利用者とサービスプロバイダー間の同意に準じて管理されます。あなたのお子さんがオンラインサービスを使用する前に、彼・彼女はサービス同意を受け入れ、ある場合においてはあなたの同意を得なければなりません。

フェイエットカウンティパブリックスクールの生徒として、私は上記の許される使用方針に述べられた規則に従うことを理解し、同意します。

生徒の署名

生徒の名前 (ブロック体)

日付

学校

学年

上記の生徒の親・保護者として、私は上記に述べられ、教育委員会方針 08.2323 とそれに伴う手順 (www.fcps.net にあります) を参照した、許される使用方針 (AUP) を理解し、同意します。私が書面で同意を撤回しない限り、この同意は生徒 (子供) が FCPS の学校にもう通学しなくなるまで有効であることを理解しています。

親の署名

親の氏名 (ブロック体)

日付

記 連保法は学区が未成年のオンライン活動を監督することを義務付けています。